

2-7 仲間といつでも交信できるV/UHF

表2-1のアマチュアバンドの中で、主に直接波で電波が伝わるVHFやUHFは昼夜や季節を問わずいつでも確実に交信できるので、仲間同士がにぎやかに交信しているようすが聞かれます。

VHFには、50MHz帯と144MHz帯の二つのバンドがあります。50MHz帯はどちらかといえば短波に近く、144MHz帯はUHFの430MHz帯や1200MHz帯に似ています。そして、144MHz帯は430MHz帯や1200MHz帯と同じようにFMによる通信が主流ですが、50MHz帯は短波と同じような交信が主流です。

それでは、VHFの144MHz帯、UHFの430MHz帯や1200MHz帯はどのように楽しまれているかを図2-5で紹介してみましょう。

これらのバンドはいつも確実な通信を確保できるので、仲間同士の電波を通した毎日の挨拶や、曜日を決めての定例オンエアミーティングなどが盛んです。このような交信は、モービルから行われることもありますが、たいていはシャックから行われるのが普通です。

モービルからの運用もよく行われます。朝などは、通勤途中にモービルの中から、毎朝いつもの局と挨拶を交わしているのが聞こえます。

そして、休日ともなるとハンディートランシーバを持って見通しのよい高原や近所の山に登って電波を出している局も多く聞かれます。その山が、たとえ数百メートルの高さでも、電波は驚くほど遠くまで飛んでいきます。

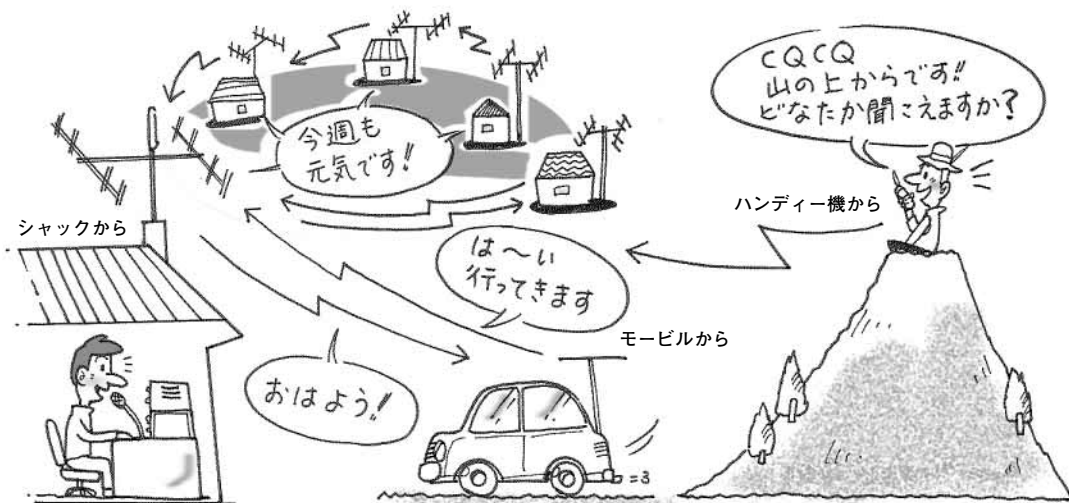


図2-5 V/UHFでの基本的な楽しみ方